

別記第1号様式（第7条関係）

令和5年4月10日

公益財団法人わかやま産業振興財団  
理事長 島 正 博 様

コメントの追加 [山田1]: 「島 正 博」を記入してください。

住所 和歌山県〇〇〇市〇〇〇  
氏名 (※) 〇〇〇〇株式会社  
代表取締役 和歌山 太郎 印  
※法人等の場合は法人等名称、代表者の職氏名

コメントの追加 [山田2]: 会社名だけでなく、代表取締役名も記入してください。  
なお、印鑑は代表取締役印（法人登記印）を押印してください。

令和5年度成長企業支援補助金事業計画書

令和5年度において、成長企業支援事業（成長企業支援補助金）を実施したいので、成長企業支援補助金交付要綱第7条第1項の規定により、必要書類を添えて提出します。

記

- 1 事業計画書（事業計画書添付書類様式1）
- 2 収支予算書（事業計画書添付書類様式2）
- 3 企業の概要（事業計画書添付書類様式3）
- 4 その他必要書類（理事長が必要と認める書類）

担当者

部署：総務部  
役職：部長  
氏名：和歌山 次郎  
TEL：073-×××-××××  
FAX：073-×××-××××  
E-Mail：×××××@×××××

コメントの追加 [山田3]: 財団との連絡窓口の方を記入してください。

事業計画書

<b>(1) 中核人材の適正性・妥当性</b>
(ア) 中核人材の該当要件 ※以下の該当する項目の <b>いずれも満たしているか確認し、チェック</b> を入れてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 年数要件 経営管理や新分野進出の責任者など企業の成長戦略を担う人材であり、かつ、概ね3年以上の実務経験を有する者。又は、専門的な知識・技術を持ち製造現場などで活躍する人材であり、かつ、概ね5年以上の実務経験を有する者。  <input checked="" type="checkbox"/> 年収要件 概ね500万円／年以上を満たす者。
(イ) 中核人材の職種及び職務内容等 (a) 職種・ポスト等 ※組織図及び配置予定ポスト（現任者はいるのか、新設ポストか等を含む）を踏まえて記載してください。 当社は、新規事業分野の拡大に伴い、製造工場をマネジメントできるプロフェッショナル人材を新たに募集することにしました。 製造工場の責任者として、生産・品質目標の設定および生産体制の構築から、業績の評価・管理、人材の教育・育成に至るまでの広範囲の折衝力と課題解決能力などが求められます。 具体的には、大手製造業の製造部門において、5年以上のマネジメント経験を有し、IE等による生産性向上の経験およびIoTの知識を有するプロフェッショナル人材をイメージしています。 採用後のポストは、製造部門の責任者（新工場の工場長）であり、執行役員待遇を考えています。
<pre>graph TD     S[社長] --- D1[企画室]     S --- D2[営業部]     S --- D3[製造部]     S --- D4[調達部]     S --- D5[法務部]     S --- D6[〇〇部]     D3 --- R1[生産・工程計画G]     D3 --- R2[生産管理G]     D3 --- R3[保守・保安全管理G]     D3 --- R4[訓練・教育G]     D3 --- R5[△△△G]</pre>
(b) 職務内容・役割等 ※具体的な職務内容について記載してください。 職務内容は、生産・工程計画の立案・作成・実行、製造進捗管理、業務改善、業務の最適化、人材育成、原価管理、機械設備の保守・保安全管理などの工場における製造部門のマネジメントの全般です。 これらの多岐にわたる職務において中心となって推進していくことができる製造部門の責任者（新工場の工場長）を探しています。

**コメントの追加 [山田4]:** 導入する中核人材が要件を満たしているか、具体的な想定年収や職務内容など、下記の(2)における必要な中核人材の内容であることを詳細に記入してください。

**コメントの追加 [山田5]:** 要件のいずれも満たしているか確認し、両方にチェックを入れてください。

**コメントの追加 [山田6]:** 上記でチェックした内容の人材に当てはまるかどうかについて、下記の項目(a)~(d)に落とし込んで、詳細に記入してください。

(c) 想定年収及び雇用待遇

※想定年収や雇用待遇等について記入してください。

年収は 500～600 万円程度を想定しています。

雇用待遇は、新規事業本部の本部長（執行役員待遇）を想定しており、その他、週休 2 日、有給完全取得、育児休暇、介護休暇、住宅手当支給等を考えております。

(d) 求める人材像

※中核人材に求める人材像について記載してください。

製造工場の責任者として、新製品の生産量の拡大、品質の安定化、設備の稼働率向上、生産計画の精度向上、生産要員の効率的配置等による生産性向上を通じて売上増大を実現するとともに、従業員および顧客の両方の満足度を向上できる高度な中核人材を求めています。

例えば、大手製造業の製造部門において5年以上のマネジメント経験を有し、できればIE等による生産性向上を行った経験、IoT等の新しいツールを積極的に社内導入して不良率を減少させた経験、さらには社内・社外のメンバーを統率して効率的に目標達成できるリーダーシップを備えた人材を探しています。

(2) 中核人材導入の必要性

(a) 背景・課題

※現在の課題を記載してください。

当社は、昭和 30 年の創業以来一貫して、自動車部品の製造を事業の中核としつつ、電動工具の部品など、多品種小ロットの金属製品の部品製造を行ってきました。

現在の従業員数は 20 名で、売上は令和元年 3 月期が 155,000 千円、令和 2 年 3 月期が 165,000 千円と増加しており、営業利益についても令和元年 3 月期 35,000 千円から令和 2 年 3 月期 38,000 千円と増加しています。

その要因は、大手取引先からの受注量の増加や、熟練工を中心に歩留まり改善に向けた地道な取り組みの成果によるものです。

他方、

- (1) 現在の既存設備では受注量を大幅に増加させることは難しいこと
  - (2) 近年の競合他社の台頭、安価な海外製品の輸入などによる市場環境の激化していること
  - (3) 熟練工が定年退職の時期を迎えているなかで顧客ニーズがますます多様化・複雑化して、製品の品質保証が難しくなっていること
- などが課題として挙げられます。

このような背景から、今後も引き続いて当社を持続的に成長させていくには、生産・品質目標の設定と管理等のほか、製造工場の IE 化および IoT 化による生産性向上および不良率の減少に取り組むのが喫緊の課題と考えています。

希望にかかったプロフェッショナル人材を獲得し、製造工場を経営・運営し、新規事業分野を開拓していくことが不可欠です。

コメントの追加 [山田7]: 自社の背景や課題を踏まえて、何故中核人材が必要なのか（課題を解決するための人材）、中核人材導入の目的等を詳細に記入してください。

(b) 目的及び必要性

※上記課題を解決するための必要性及び目的について記載してください。

現在、製造工場をマネジメントできる人材が社内では不足しているため、新製品による新規事業分野の開拓を推進するためには、外部からプロフェッショナル人材を導入する必要があります。

外部から導入したプロフェッショナル人材の高度な知見と経験を活用して、新工場の業務改善と生産管理を行ってもらうとともに、当社の次世代を担う人材の教育・育成にも積極的に貢献してもらいます。

(3) 企業の成長性

(a) 導入人材により期待できる効果

※中核人材採用により期待できる効果（企業の業績に影響する比率等を含む）について記載してください。

当社の売上高は約 160,000 千円前後で安定した業績を確保しています。最近顧客から納入数量を 5%増量する要求がありましたが、新規の設備投資はスペース上困難であるため、IE等による生産性向上の経験や IoT の知識を有する中核人材を導入することで、生産性の向上と不良率の減少を通じて顧客の要求にお応えできると考えます。

具体的には、IEやIoT等の社内浸透により生産性向上と不良率減少のより一層の効果により、5年後の売上高は30%増加できる見込みであります。

さらに、高品質でコストパフォーマンスに優れた新製品やオリジナル製品の市場投入により、持続的な業績アップも期待できると考えます。

(b) 成長性及び長期的展望

※中核人材採用による企業の将来性、波及効果等について記載してください。

製造部門の従業員の年齢構成の面から、当社では製造部門のマネジメント層の人材が不足しており、長期的に計画的な人材育成が必要な状況です。

当面の組織体制上の必要な人材については、外部のプロフェッショナル人材の採用で補完する一方、持続的な成長に向け、社内においても計画的な人材教育を実施しながら必要な人材を育成していきます。

さらに、中核人材には「働き方改革」に併せて、現場の意見を聞きながら業務の効率化にも取り組んでもらいます。子育てや家族介護をされる方には、シフトの要望等、可能な限り柔軟に対応すると共に、周りの方の負担も軽減できるよう、業務配分の見直しなどにも積極的に取り組んでもらうので、企業のイメージアップも期待されます。

コメントの追加 [山田8]: 導入する中核人材により、期待できる効果（課題の解決や自社の成長性等）について、詳細に記入してください。

(事業計画書添付書類様式2)

収支予算書

【収入の部】

(単位：円)

区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	説明
補助金	(a) 1,000,000	(a) 1,000,000	(公財) わかやま産業振興財団
借入金			
自己資金	925,000	750,000	
合計	(b) 1,925,000	(c) 1,750,000	

コメントの追加 [山田9]: 支出の部から作成してください。  
支出の部の(a)

コメントの追加 [山田10]: 支出の部の(b)

コメントの追加 [山田11]: 支出の部の(c)

【支出の部】

(単位：円)

経費区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	説明
手数料	1,750,000	1,750,000	有料職業紹介事業者への紹介手数料 想定年収 5,000,000 円 × 35% = 1,750,000 円
消費税及び地方消費税	175,000		
合計	(b) 1,925,000	(c) 1,750,000	
事業者負担等		750,000	
補助金		(a) 1,000,000	

コメントの追加 [山田14]: 「想定年収」と「% (有料職業紹介事業者との契約書・見積書における数字)」を記入し、手数料を算出してください。

コメントの追加 [山田12]: 算出した手数料 (消費税抜き)

コメントの追加 [山田13]: 算出した手数料 (消費税抜き)

コメントの追加 [山田15]: 消費税の額

コメントの追加 [山田16]: 消費税を含めた合計額

コメントの追加 [山田17]: 消費税抜きの合計額

コメントの追加 [山田18]: 補助対象経費 (消費税抜き) の合計から補助金の額を差し引いた額

コメントの追加 [山田19]: 「補助対象経費の合計 × 2/3」をし、千円未満を切り捨ててください。上限は 100 万円です。

(注) 収支の計はそれぞれ一致させること。

(注) 補助金の額は、補助対象経費の合計金額に補助率の上限を乗じて得た額の千円未満を切り捨てること。

(事業計画書添付書類様式3)

企業の概要

名称	〇〇〇〇株式会社		設立年月日	昭和〇年〇月〇日		
代表者	山田 太郎 (××歳)		後継者の有無	有		
人材採用担当部署及び責任者			山田 次郎			
所在地	〒××××-×××× 和歌山県〇〇〇市〇〇〇 TEL : 073-××××-×××× URL : https://www.××××× FAX : 073-××××-×××× E-mail : ×××××@×××××					
資本金	1,000万円		業種	金属製品製造業		
従業員	〇〇人 (内訳 : 管理部門 〇〇人 開発部門 〇〇人 製造部門 〇〇人)					
株主構成	氏名	関係	比率	製品・商品名	比率	
	山田 太郎	本人	70%	〇〇〇	70%	
	山田 次郎	子	20%	×××	20%	
	山田 花子	妻	10%	△△△	10%	
主要販売先	会社名	製品・商品名	比率	会社名	製品・商品名	比率
	〇〇〇	〇〇〇	70%	〇〇〇	〇〇〇	70%
	×××	×××	20%	×××	×××	20%
	△△△	△△△	10%	△△△	△△△	10%
<会社沿革>						
設立・創業からの経緯						
認定・承認等						
<過去に受けた補助金・助成金など>						
時期	対象事業	交付機関(制度名)		金額(千円)		
令和元年度	ものづくり補助金	中小企業庁		10,000		
平成30年度	わかやま中小企業元気ファンド事業	(公財)わかやま産業振興財団		5,000		

コメントの追加 [山田20]: 人材採用の担当者を記入してください。  
連絡窓口の方と異なる場合は、別の方を記入してください。

コメントの追加 [山田21]: 設立・創業からの経緯について、記入してください。  
会社パンフレットでの代用可なので、「別添パンフレット参照」と記載し、添付してください。

コメントの追加 [山田22]: 認定を受けているものがあれば、記入してください。  
ISO、HACCP等の認定含む。

コメントの追加 [山田23]: 過去3年以内を目処に受けた補助金等があれば記入してください。